

平成28年度決算概要報告

◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H28決算	H28当初予算	予算差引(①-②)	H27決算	前年度差引(①-④)	
経常費用合計	70,028	70,436	▲407	68,269	1,759	【附属2病院】 診療経費の増(+386百万円) 人件費の増(+968百万円)
経常収益合計	69,001	70,000	▲999	67,807	1,193	【附属2病院】附属病院収益の増(+720百万円)
経常利益	▲1,027	▲435	▲591	▲461	▲565	
臨時損失	27	-	27	8	18	
臨時利益	363	-	363	4	358	【センター病院】工事繰越に伴う利益の増(+360百万円)
当期純利益	▲691	▲435	▲255	▲465	▲225	
目的積立金取崩額	413	435	▲22	420	▲6	
当期総利益	▲277	-	▲277	▲45	▲232	

経常収支比率※	98.5%	99.4%	▲0.8%	99.3%	▲0.8%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----------------------

<法人共通コメント> ※数値は対前年度決算比

【費用】(+1,759百万円)

- ・附属2病院において、医薬品費や材料費などの診療経費が増加しております。(+386百万円)
- ・年金一元化、給与改定および人員増の影響により、人件費が増加しております。(+968百万円)

【収益】(+1,193百万円)

- ・附属2病院において、診療単価の増に伴い、附属病院収益が増加しております。(+720百万円)

<セグメント人件費振替額>

※振替対象人件費は、「常勤教員の給与・賞与・諸手当」となります。

	H28振替額①	H27振替額①	前年度差引 ①-②
大学 医学部臨床系教員	39	91	▲51
附属病院教員	342	336	6
センター病院教員	▲382	▲427	45

<凡例>

- ・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見た目の計算結果が合わないことがあります。
- ・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。

項 目	H28決算	H28当初予算	予算差引(①-②)	H27決算	前年度差引(①-④)	対前年度増減理由
教育経費	1,827	2,143	▲316	1,583	243	耐震整備引越等経費(+199)、スクールアグリーメント契約更新(+44)、理研棟負担金(+28)、授業料等減免額(+16)、光熱水費(▲56)
研究経費	3,289	3,221	67	3,184	104	受託研究費(+196)、国際化推進事業(+13)、先端医学研究センター増築終了(▲49)、光熱水費(▲44)、
人件費合計	7,394	7,469	▲74	7,396	▲1	
役員人件費	43	47	▲3	45	▲1	
教員人件費	5,190	5,223	▲33	5,189	-	教員人件費 ・定期昇給(+50)、人員減(▲51) ※教員数の減(▲3.4人)等
セグメント人件費振替額	39	70	▲30	91	▲51	職員人件費 ・定期昇給(+21)、人員増(+25) ※職員数の増(5人)、給与改定
職員人件費	1,757	1,766	▲8	1,723	34	・非常勤職員(▲23) ※正規転換(▲6人)
退職給付引当金繰入	363	362	1	346	17	退職給付引当金繰入(+17)
一般管理費等	790	718	72	778	11	租税公課等(+11)
減価償却費	891	807	84	875	16	受託研究資産取得増に伴う償却増
経常費用合計	14,193	14,361	▲167	13,818	375	
運営費交付金収益	6,979	7,093	▲113	7,003	▲24	資産取得減に伴う収益増(+23)、期間進行基準交付額増加分(+21)、退職手当(▲69)
授業料収益等	3,034	2,918	115	2,995	38	・授業料+12(26.4億→26.5億)在籍者増(+23名) ・検定料+10(75→85) 志願者増(一般選抜2,214人→2,496人) ・入学金+18(279→297)
外部資金合計	3,133	2,589	543	2,651	481	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	1,751	1,508	242	1,489	262	獲得額+93(1,638→1,731) ※うち間接経費+21(263→284) 予決+55(229→284)
奨学寄附金	562	501	60	529	32	獲得額+98(499→597) ※うち間接経費+8(46→54) 予決+5(49→54)
補助金	819	578	240	632	186	耐震整備横浜市負担額(収益化額)(+278) 研究費補助金獲得額▲39(553→514)
資産見返負債戻入	670	665	5	666	4	
雑益等	583	922	▲339	640	▲57	・NMR利用料等の財産賃付料収入増+28 ・科学研究費補助金等間接経費+24(210→234) 予決+40(194→234) ・法医解剖奨学研究費収入の増+20 ・耐震整備横浜市負担額を補助金で計上▲137
経常収益合計	14,401	14,189	211	13,957	443	
経常利益	207	▲171	379	139	68	
臨時損失	3	-	3	2	1	建物附属設備・工器具備品除却損
臨時利益	3	-	3	-	3	資産見返寄附金戻入
当期純利益	207	▲171	379	137	70	
目的積立金取崩額	179	171	7	213	▲34	数理計算上の差異(+11)、八景C再整備負担金相当額充当分(▲42)
当期総利益	387	-	387	351	36	

人件費比率※1	51.3%	52.6%	▲1.3%	53.0%	▲1.6%
経常収支比率※2	101.5%	98.8%	2.7%	101.0%	0.5%

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益
第2期中期計画目標値: 53%未満
※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

◆ 附属病院

(単位:百万円)

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H28決算	H28当初予算	予算差引 (①-②)	H27決算	前年度差引 (①-④)	
診療経費	12,711	12,577	133	12,641	69	
うち医薬品費	5,340	5,017	323	5,356	▲15	入院患者数(のべ数)の減に伴う減
うち材料費	3,093	3,004	88	3,040	53	内視鏡センター等での使用増
うち光熱水費	475	617	▲142	549	▲74	原油価格下落に伴う減
教育・研究・受託研究・一般管理費等	454	538	▲83	499	▲44	臨床研究ネットワーク事業初期費用の減(▲33)
人件費	11,787	11,658	129	11,413	373	
教員人件費	1,501	1,444	56	1,441	60	退職金(+27)、年金一元化(+16)、定期昇給(+12)
セグメント人件費振替額	342	347	▲4	336	6	
職員人件費	9,646	9,559	87	9,347	299	定期昇給(+132)、年金一元化(+82)、給与改定(+39)、人員増(+36)
退職給付引当金繰入	295	307	▲11	288	7	
減価償却費	1,518	1,701	▲183	1,386	132	病院情報システム減価償却費の増
経常費用合計	26,472	26,475	▲3	25,940	531	
運営費交付金収益	2,367	2,351	15	2,383	▲16	
運営交付金交付額	3,096	3,096	-	2,734	361	施設整備経費予算の増(+364)
資産取得分等(施設設備等)	▲729	▲744	15	▲350	▲378	
附属病院収益	22,336	22,800	▲463	22,309	27	
うち入院収益	14,658	15,229	▲570	14,875	▲216	入院患者数(のべ数)及び手術件数の減
うち外来収益	7,469	7,352	116	7,226	242	外来化学療法件数及び画像診断件数の増
資産戻返負債戻入	434	503	▲69	383	50	新規取得分の増(+14)除却に伴う一括計上(+21)
補助金等収益	199	210	▲11	177	21	市補助金収益化額の増(+32) 県補助金(医師確保・地域医療力向上事業)の減(▲10)
雑益等	445	439	5	416	28	PET製剤製造委託の増(+30)
経常収益合計	25,782	26,305	▲523	25,670	111	
経常利益	▲689	▲170	▲519	▲270	▲419	
臨時損失	21	-	21	1	20	外来化学療法室跡地整備に伴う旧設備等の除却損
臨時利益	-	-	-	18	▲18	徴収不能引当金戻入額の減
当期純利益	▲711	▲170	▲541	▲253	▲458	
目的積立金取崩額	151	170	▲19	134	16	MSSAライセンス料(+9)、臨床研究NW事業(+6)
当期総利益	▲560	-	▲560	▲118	▲442	

入院単価	71,099円	71,967円	▲868円	71,473円	▲374円
入院患者数(のべ数)	204,874人	210,065人	▲5,191人	206,678人	▲1,804人
新入院患者数	13,975人	-人	13,975人	14,167人	▲192人
病床利用率	85.8%	88.0%	▲2.2%	86.3%	▲0.5%
平均在院日数	14.7日	14.6日	0.1日	14.6日	0.1日
外来単価	16,300円	15,654円	646円	15,571円	729円
外来患者数/1日	1,874人	1,921人	▲47人	1,898人	▲24人
手術件数	5,927件	6,135件	▲208件	6,135件	▲208件
医薬材料費比率 ^{※1}	37.8%	35.2%	2.6%	37.6%	0.1%
人件費比率 ^{※2}	52.8%	51.1%	1.6%	51.2%	1.6%
経常収支比率 ^{※3}	97.4%	99.4%	▲2.0%	99.0%	▲1.6%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・医薬材料費比率 35%未満
- ・人件費比率: 50%未満

◆センター病院

(単位:百万円)

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H28決算	H28当初予算	予算差引 (①-②)	H27決算	前年度差引 (①-④)	
診療経費	14,691	14,813	▲121	14,374	317	
うち医薬品費	6,047	5,879	167	5,839	207	・外来化学療法件数増(+1,493件)に伴う増
うち材料費	4,107	3,990	116	3,963	144	・TAVIの実施件数増(+27件)、ペースメーカー交換・移植術件数増(+18件)等に伴う増(+52) ・放射性医薬品の使用量増に伴う増(+55)
うち光熱水費	557	697	▲140	627	▲70	・原油価格下落に伴う減
教育・研究・受託研究・一般管理費等	435	495	▲60	443	▲7	
人件費	13,053	13,076	▲23	12,458	595	
教員人件費	2,422	2,338	83	2,360	62	・定期昇給に伴う増(+11) ・人員減に伴う減(▲37) ・年金一元化に伴う増(+25)
セグメント人件費振替額	▲382	▲417	34	▲427	45	
職員人件費	10,622	10,748	▲125	10,135	486	・定期昇給に伴う増(+110) ・人員増に伴う増(+196) ・年金一元化に伴う増(+89) ・給与改定に伴う増(+45)
退職給付引当金繰入	390	406	▲15	389	1	
減価償却費	1,181	1,213	▲31	1,247	▲66	・部門システム(▲52)等償却終了に伴う減
経常費用合計	29,362	29,598	▲236	28,523	839	
運営費交付金収益	1,366	1,305	60	1,382	▲16	
運営交付金交付額	2,372	2,372	-	1,724	648	・施設整備経費予算の増加(+622)
資産取得分等(施設設備等)	▲1,006	▲1,066	60	▲341	▲664	
附属病院収益	26,680	27,418	▲738	25,986	693	
うち入院収益	17,616	18,649	▲1,032	17,509	107	・新入院患者数増に伴う増 ・加算、施設基準の取得に伴う増
うち外来収益	8,732	8,395	336	8,130	601	・外来化学療法件数増に伴う増
資産見返負債戻入	272	293	▲20	340	▲67	・部門システム(▲52)等償却終了に伴う減
補助金収益等	70	76	▲6	78	▲8	
雑益等	427	410	17	390	37	・新南区総合庁舎電力供給に伴う収入による増(+20) ・補助金から受託事業変更に伴う増(+12)
経常収益合計	28,817	29,505	▲687	28,179	638	
経常利益	▲545	▲93	▲451	▲344	▲200	
臨時損失	2	-	2	5	▲3	
臨時利益	360	-	360	-	360	・工事繰越に伴う臨時収益(+360)
当期純利益	▲187	▲93	▲93	▲349	162	
目的積立金取崩額	83	93	▲10	71	11	・MSSAライセンス料(+15)
当期総利益	▲104	-	▲104	▲277	173	

入院単価	74,724円	77,905円	▲3,181円	73,075円	1,649円
入院患者数(のべ数)	234,441人	238,491人	▲4,050人	238,178人	▲3,737人
新入院患者数	18,291人	-人	18,291人	18,065人	226人
病床利用率	88.5%	90.0%	▲1.5%	89.6%	▲1.1%
平均在院日数	12.8日	12.2日	0.6日	13.2日	▲0.4日
外来単価	18,354円	18,300円	54円	16,944円	1,410円
外来患者数/1日	1,949人	1,879人	70人	1,968人	▲19人
手術件数	7,877件	7,900件	▲23件	7,900件	▲23件
医薬材料費比率 ^{※1}	38.1%	36.0%	2.1%	37.7%	0.3%
人件費比率 ^{※2}	48.9%	47.7%	1.2%	47.9%	1.0%
経常収支比率 ^{※3}	98.1%	99.7%	▲1.5%	98.8%	▲0.6%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・医薬材料費比率 33%未満
- ・人件費比率: 50%未満